



# 丹波デザイン・プロジェクト



## DATA

- 主な連携先・メンバー  
丹波市役所／丹波市内の有機農家・食品関連企業
- 活動地域  
兵庫県丹波市
- 活動期間  
2018年度
- 活動資金  
丹波市受託研究費

### 活動の目的

- 1 丹波市のブランド価値を高めるようなコミュニケーション・デザインを提案する
- 2 丹波市において、学生たちが考動することで、問題解決力を鍛える

### 連携にいたる経緯

丹波市からの依頼により、同市のブランド価値を高めるようなコミュニケーション・デザインを考えるプロジェクトとして、丹波市産品を用いた商品開発を行うことになった。同市との協議の下、商品開発に限定せず、農業と食をテーマに広く課題抽出を行なった。

### 活動内容

2018年6月、丹波市内で総合情報学部 松下ゼミ・徳山ゼミの合同で2泊3日のフィールドワークを行った。その際、丹波市において農業や食に従事する方々から、同市の農業の現状、市内で行われている商品開発に関する講義を聞き、農業体験なども踏まえ、ワークショップを実施。ワークショップでは、丹波市の課題と可能性を抽出し、それらを解決するためのアイディアを出し合った。その結果、3つの方向性での商品開発が決まった。1つは丹波市の特産である有機農産物を用いたギフト用ベビーフードの開発、2つ目は丹波市の観光案内を兼ねたドライブコースとドライブマップの作成、そして、3つ目は丹波市における新たな有機農業のあり方を提案するための農家ネットワークの調査である。それぞれのテーマをもとに学生たちが現地に足を運んで調査を重ね、関西大学幼稚園などの協力も得て、ベビーフードやマップのプロトタイプを作成した。こうした成果は同年11月に丹波市役所柏原支所で行われた報告会で、地元関係者の方々に披露された。



### 活動の成果

- 1 丹波市のブランド発信への貢献
- 2 丹波市内における商品開発機運の醸成
- 3 総合情報学部のスキル(デジタル技術)を用いたプロトタイプの作成

### 今後の課題・目標

- 1 6次産品化を進めていく上での丹波市内での製造・流通・小売業者に関する調査
- 2 ブランド価値を高めていくための継続的なプロジェクトのあり方

#### 教員紹介



■ 総合情報学部 教授

**徳山美津恵**  
Mitsue Tokuyama

専門はマーケティング、ブランド論。地域ブランドの研究を継続する中で、自治体の各種委員を歴任するだけでなく、ゼミ生とともに地域活性化プロジェクトに取り組む。



■ 総合情報学部 教授

**松下光範**  
Mitsunori Matsushita

専門はインタラクティブシステムデザイン。様々な情報処理システムの機能性の高さと使いやすさとを両立する方法論について研究を行なっている。